

解答

一	
問一	(ア) 負
問二	1 (イ) 背後
問三	② 自然(の) 報復
問四	不老不死の力 ③ 自然(の) 開発
問五	「人と自然() 生かしあう(という視点)」
問六	A 4 B 1
問七	1、4

二	
問一	① 1
問二	2 ② 3
問三	1 ⑤ 3
問四	A 3 B 5
問五	2
問六	4
問七	2
問八	2
問九	2

三	
問一	4
問二	1
問三	かに
問四	2
問五	3
問六	2
四	
問一	① 4
	② 2
	③ 8
	④ 1
	⑤ 6
	⑥ 9
	⑦ 3
	⑧ 5

解説

一	
問二	本文中盤の「この映画では、」ではじまる段落に着目します。自然とヒトを対立する存在としてとらえているから、この映画は多くの人にうけいれられたのではないだろうか。と述べていることから選択肢―が最もふさわしいことがわかります。
問五	――線⑤の後にある、「人と自然」についての記述に着目します。まず、誰にでもわかりやすい説明が常識となり、『もののけ姫』に代表される自然観は、広く人々の心をとらえているが、それは、人々に「人か自然か」という二者択一を迫ることにしかならないという内容を述べています。次に、これと対立する考えとして、日本の伝統的な自然観は、自然と人をそのように対立させるものではなかったことを説明し、「人と自然」が同じ空間を共有し、ともに育ち、生かしあうことを当然とするものであったと述べているので、設問の指示に従い、『人と自然』と「生かしあう」の部分を答えます。

二	
問七	――線⑧の直後にある「勝手に舞台のオーディションに誘って、断ったからといって、つまらないだなんて。

問八

いわれなくても私は自分がつまらない人間だということをよくよく知っている。」という記述から、選択肢2が適切であることがわかります。

本文の中盤にある「それに、もしも」で始まる段落に着目すると、一番になれず何がいけないかもわからないう、玲の状況が描かれています。また、――線⑨の後にある「歌いたい、と思った。歌うんだ。千夏と、歌うんだ。」という記述から、最もふさわしいものが選択肢2であることがわかります。

問一

直前にある「生きるために 不可欠な物語を 人生のノートに 書き始めたのは」という記述から「言葉の力で生きはじめた」という記述を含む選択肢4が選べます。

問六

この詩では、空に星が輝き、花が咲いて、木は葉を繁らす中で、等身大の自分を受け入れて、立ち止まらないうことを綴っています。日々の暮らしは、誰かとめぐり会い言葉の力で幸福になると表現していることから、選択肢2が選べます。